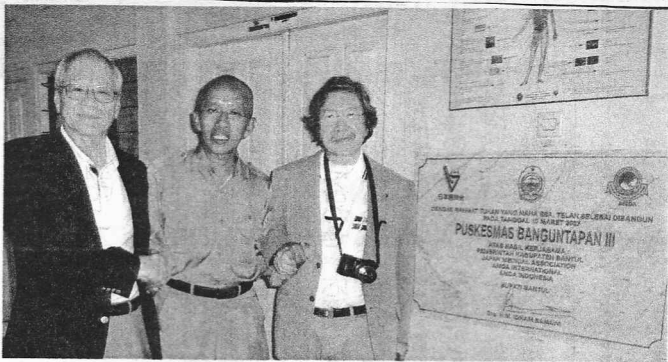


バングンタパン第三保健センター

(インドネシア) 訪問について



バングンタパン第三保健センターにて
(左から横倉会長、センター長、石井常任理事)

ヨグジャ
カルタの
バングン
タパン第
三保健セ
ンターを
訪問し
た。

同セン
ターは、
二〇〇六
年五月二
十七日に
発生した
ジャワ島
中部地震
(マグニ

の義援金により、AMDA
A (Association of Medi-
cal Doctors of Asia: 一九
八四年に設立された国際
医療ボランティア組織)
の復興支援事業を通じて
建設されたものである。

当事業は、日医が保健
センターの建設という具
体的な復興
支援事業に
協力した初
めてのケー
スであり、
同センター
では現在、
一日約八十
人、年間約
二万四千人
の診療が行
われ、地域
住民の健康
管理に重要
な役割を果

たしている。
同センターには、日医
の名前が入った銘版と
「友として、地震に被災
された人たちの健康と幸
せを祈る」とした日医と
AMDAによるプレート
が掲げられるなど、感謝
の意が表されている。

横倉会長、石井常任理
事はWMAバリ中間理事
会の帰路、四月八日にシ

チュード六・三) に対す
る都道府県医師会、都市
区医師会、一般会員から

な役割を果



バングンタパン第三保健センター